

附帯教育 別科

■昼間講座 午前 10:00～12:00 / 午後 13:30～15:30
(16:00～18:00)

■夜間講座 夜間 18:45～20:45

入学時期：4月、7月、10月、1月（随時入学可）

入学資格、入学試験：なし

修了年限：1～3年（申し込みは3ヶ月毎）

別科では学生から社会人、主婦の方までさまざまな人が学んでいます。学習の動機も将来の就職に備えて、仕事上の必要から、趣味として、などいろいろです。

講座は週1～2回、時間帯も上記からご都合に合わせて選べます。基礎課程では、「聞く」「話す」に重点を置き、発音から基礎文法を固め、応用課程以上では興味のある分野、苦手な分野に的を絞って講座を選択できます。

中国語が初めての方から学習経験のある方まで自分のレベルに合ったクラスが見つかるでしょう。

日本語科

■日本語科（中級コース）

時間 月～金 13:30～17:30

入学時期 4月、10月

修了年限 2年、1年半

入学資格

- ① 中華人民共和国の国籍を有する者
- ② 学校教育12年の課程を修了した者
- ③ 中国の日本語教育機関で150時間程度日本語を学習した者

日本語科は、1986年4月に中国の留学生を対象に設立されたコースです。日本語の基礎を習得した人が、日本語の能力を更に伸ばすための授業を行なっています。また、都内見学、バス旅行、交流会など、日本を深く知るための活動を定期的に行います。卒業生は、大学、大学院などへ進学し大きな成果を収めています。

週1～2回、入門から通訳まで70を超える多彩な講座!!

■講座紹介（一部）

●基礎課程

発音から基礎文法習得

昼間、夜間週2 「1-1」「1-2」

昼間、夜間週1 「2-1」「2-2」

土曜週1 「3-1」「3-2」

●応用課程以上

弱点の克服、分野別のレベルアップ

昼間週1 「ステップアップ」「会話」

夜間週1 「リスニング」「基礎復習」

「作文」「講読」「古典」

「通訳」「ガイド」他

その他に中国語検定2級、HSK6級対策や春期・夏期集中講座、1日集中講座もあります。

授業見学随時可 レベルチェック要予約

別科（特別講座を除く）在籍者の方が本科に合格すると入学金が半額になります。



東京都専修学校専門課程認可
公益財団法人日中友好会館

日中学院

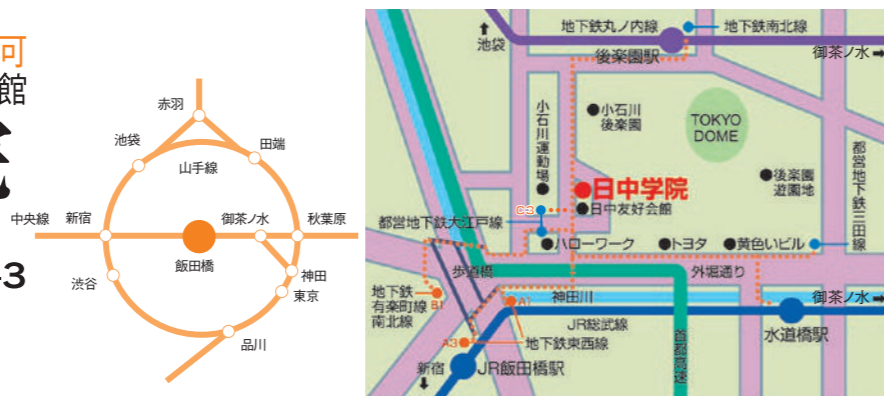
〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3

☎03(3814)3591

FAX 03(3814)3590

<https://www.rizhong.org/>

E-mail: info@rizhong.org



- JR総武線東口、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線飯田橋駅 A1出口より6分、都営地下鉄大江戸線飯田橋駅C3出口より2分
- 都営地下鉄三田線A2出口、JR総武線水道橋駅西口より8分
- 東京メトロ丸ノ内線、南北線後楽園駅2番出口より7分

中国語の日中学院 SINCE1951



本科（2年制中国語専門課程）
本科研究科（1年制通訳翻訳課程）

入学案内

日中学院で中国語を しっかり学ぼう



学院長
齋藤 法雄

日中学院は、日本と中国の国交回復がまだ実現されていなかった時期、1951年に故倉石武二郎・東大名誉教授が始められた中国語講習会から発展し、今日まで創設70年の長い歴史を持った伝統校です。創設以来のスローガンである「学好中国话, 为日中友好起桥梁作用」(中国語を学んで日中友好の懸け橋になろう!) を守り続け、学院の玄関や各教室にこの標語が掲げられています。これには、過去の戦争の過ちを繰り返すまいとの揺るぎない願いが込められています。この思いは今も多くの教員、学生、校友の心に響き続けています。

国交正常化と中国の対外開放を経て、1986年には中国からの留学生のための日本語科を設置しました。これにより学内は日本人と中国人のにぎやかな交流の場となっています。そして今日では日本政府と中国政府の共同事業である公益財団法人日中友好会館付設の専修学校となっています。

学習面では「中国語が聞ける、話せる」という実際に使える教育を重視しています。優秀な中国人講師を多数招くと共に、視聴覚教育設備や充実した図書室を完備し、夏季における中国短期留学(5週間程度)も本科学生の必須カリキュラムに組み込んでいます。

学習以外にも、中国人と日本人学生の親睦ハイキングや文化祭で演劇やコーラスを披露したりするなど楽しい思い出も満載です。日中学院で集中して中国語を学ぶ2年間は、学生の皆さんにとっては長い人生のひとつの通過点ですが、生涯学習の基礎を作り、人生の方向を決める上で極めて重要な2年でもあります。同じクラスの中で年代の違う学生たちが相互に刺激しあいながら、卒業後の進路についても考えていただきたいと思います。

日中学院を卒業した後、就職、大学への編入、中国への留学や更なる探求等、いずれの道を進まれる場合にも学院は全力を尽くして皆さんを支援します。

皆さんが充実した2年間でここ日中学院で過ごされることを期待しています。

中国語を身につけ
新たな仕事を
目指す方にも!

本科から
大学編入!



掲示板



校舎全景



講座案内

施設案内



ラウンジ歓談スペース



教室



ラウンジ学習スペース



2万冊の中国関係の書籍、ビデオ、DVDを備える図書室



LL教室



事務局(手前)と講師室(奥)

本科

(2年制中国語専門課程)

中国語を基礎から、徹底的に、本当に力のつくカリキュラム。



本科とは 中検2～準1級、HSK5～6級取得を目標

中国語を初歩から本格的・集中的に学び、マスターし、将来に活かしたいと考えている方のためのコースです。「聴く」「話す」を中心にオールラウンドの中国語力を養います。ゼロからでも、早い学生で1年生の6月に中検4級、11月に中検3級に合格(中には2級合格者も)、2年間でHSK5～6級、中検2～準1級取得を目指します。

中国語での授業と合わせて、日本人が苦手とするポイントを熟知した日本人講師が、日本語でもその理解をサポートするので、留学で中国語を学ぶ以上に、『速く!』『正確に!』中国語を自分のものにできます。また、講師がいつでも待機し、質問に応じています。

授業内容 中国短期留学必修!

1年次では、最初に「ピンイン」の学習を通じて発音の習得につとめます。また「基礎漢語」を中心に中国語の基本文法を学び「会話」、「聴解」、「講読」でさらに総合的な基礎力を養います。社会科学では中国近現代史や中国の地理・政治・社会のしくみを勉強します。

2年次では約1カ月程の中国短期留学が必修になっています。本場中国でこれまで習った中国語を試しながら、会話、リスニング力を更に高めます。通常の授業では中国の教材やオリジナル教材を用い、複雑な文型や語彙を増やし、やや高度な日文中訳や中文日訳、テーマに即した会話、HSK・ニュース・映画等幅広い題材を基にした聴解の授業を行います。社会科学では現代中国が抱える諸問題についての研究、発表を通し理解を深めます。

留学生との交流 生きた中国語を学ぶ

日中学院では、中国人講師が半数以上を占めていることや、日本語科の学生が全て中国からの留学生であるため、日頃学校のラウンジ等で身近に中国の方と知り合え、日本に居ながら生きた中国語を勉強できます。また、授業以外にも合宿、文化祭、弁論大会など留学生との交流イベントもあり、まさに日中友好の実践の場と言えます。

専門士 既修単位振替可能!

日中学院は1981年に東京都より「専修学校専門課程」の認可を受けた専門学校です。本科2年間の課程を修了すると、専門学校卒業資格と同時に「専門士」の称号が付与されます。「専門士」とは、短大・高専卒業者に与えられる「準学士」と並ぶ称号で、取得者は1999年より大学2・3年次への編入が可能となりました。

日中学院では既修単位の振り替えができるため、最短1年で専門士を取得できる場合もあります。

進路 東京外国語大学3年次編入も

卒業後は商社、旅行社、メーカー、中国関係の団体等へ就職、長期留学、本科研究科に進学などの道があります。また、指定校推薦制度等により日本大学、大東文化大学、神奈川大学、明海大学、目白大学、麗澤大学に、一般編入で東京外国語大学、神戸市外国語大学等への編入実績もあります。進路は様々で多岐にわたります。

学んだ中国語を中国で使おう! —中国短期留学

本科では中国での短期留学が必修になっています。2年次の6月下旬から7月末までの約1カ月間、中国の大学で短期研修を行います。

1年生の時に基礎語彙をつけ、文型の暗記、練習を通して中国語のストックが相当できあがっています。そしてある程度まで中国語で考えられるようになっていきます。

実際に中国に行って使ってみるのがこの留学です。大学内の留学生寮に滞在し、午前中はすべて中国語での授業、午後には、現地大学生との交流や街に出ての実践会話と本場中国で自分の力試しができます。また、勉強だけでなく、市内観光や京劇鑑賞なども盛り込まれており、一般の旅行とはひと味違った生の中国を肌で感じることができるでしょう。

留学生活で、特にリスニング力と会話力に自信が付き、現代中国への理解も深まります。この中国短期留学で味わった喜びと悔しきは必ずその後の中国語学習に役立つはずです。



修了式



故宮博物院

●短期留学実施要項 (実施については未定)

期間：7月初～7月末
留学先：中国人民大学(予定)
日程：7月初 東京出発、北京到着
2日目以降～ 中国の大学にて中国語の研修。
会話・聴き取りに重点の置かれた授業です。授業以外に市内観光、郊外観光などもあります。

7月末 帰国
費用：約600,000円(食費・交通費・パスポート取得費用及びそのための手続き料・保険料の費用などは含まれません)

※費用については、1年入学時に30万円を、実費の残額を2年進級時に積み立てることになります。また、レートや航空券、学費、宿泊費の値上げにより、不足した場合は別途徴収します。ご了承ください。

短期留学1日のスケジュール

午前(8:00～11:30) 授業(全て中国語)
午後 補講、市内観光、自由行動等
夜 自習等
宿泊は大学学生宿舎、食事は大学の食堂などを利用します。

充実した中国短期留学

本科60期 永田 美卯

この数年、新型コロナウイルス流行など様々な要因で、日中学院では中国の短期留学が中止されていましたが、今年には行くことが出来、運が良かったと思います。

出発前はビザの申請等手続きが非常に大変で、本当に中国に行くことが出来るのかと心配でした。先生方の不安や負担は更に大きかったと思います。私達が留学に行くことが出来たのは、日中学院・人民大学の先生方、職員の方々のおかげです。改めて感謝申し上げます。

人民大学の門をくぐった時、私は期待と不安でいっぱいでした。初めて現地の先生方の話を聞いた時には、話すスピードがとても速く、今まで聞いたことのない単語も多く、話を理解できず、授業についていけるか心配になりました。実際、最初の数日は先生の説明を聞き取ることが難しく、授業の中でわからないことも多々ありましたが、徐々に耳が慣れてくると聞き取れるようになり、成長を感じる事が出来ました。

人民大学の先生は優しく親切で、授業内容もとてもおもしろいものでした。人民大学の学生のサポートもあったので、私達も安心して留学生活を送ることができました。本当はもっと先生や学生とたくさん話をしたかったのに、即座に言葉が出て来なくてもどかしい気持ちになることが多々あったのが悔しかったです。

今回の留学を通じて私の聴解力は確かに上がったと感じています。しかし、話す力は自分が思ったほど上達しなかったように思います。この留学では自分の中国語学習について課題もたくさん見えてきましたが、やはりとても意義があり、勉強になった毎日でした。私は以前よりも更に中国が好きになり、中国語を話せるようになりたいという気持ちも強まりました。

これからもっと学習を頑張っていて、次に中国に行った時には更にたくさん中国の方々や交流したいです。



既習者の方にも対応!! 1年生既習者クラス、本科編入

本科1年既習者クラス

高校や大学等で既に中国語を勉強したことがある方や中国で生まれた方で、2年生の編入には少し力不足という方のために、1年生既習者クラスを設けています。未習者クラスと基本的な教材、進度は同じですが、補充プリント等を使って量や速度を加え、小テストや課題も増やし、更にしっかりと基礎力の獲得を目指します。また既習者クラスには作文の授業もあります。(人数により1クラスになります。)



熱のこもった授業



映画を見ながらVTRの授業

本科1年(9月、10月) 本科2年(4月)
日中学院入学前に、大学、留学、他の機関で長く中国語を学ばれた方は、本科編入(1年生9月、10月、2年生4月)が可能です。過去の既修単位が本学院の単位として認められるのです。すでに身につけている初、中級の中国語力を活かして編入すれば短い期間で効率よくレベルアップできます。
2年生に編入し、単位が振り替えられれば最短1年間で本科卒業、専門士が取得できます。単位が振り替えられない場合、科目履修生として1年履修し、本科卒業と同レベルになります。詳しくはお問い合わせください。

●編入生募集要項

- 出願条件：1年生 本科出願条件に準ずる。
2年生 本科出願条件の他に、本科1年修了程度の学力を有する者。
- 試験日程：1年9月、10月編入生はそれぞれ8月下旬、9月中旬までに編入試験を行います。
お早めにお問い合わせください。
2年編入生は、本科募集要項に同じ。
- 試験内容：1年生 レベルチェック及び作文、面接
2年生 語学試験及び面接
- 提出願書：本科募集要項に同じ



LL教室で聴解の授業

本科編入

1、2年生のカリキュラム

●学期区分

前期 4月10日～9月30日 夏休み 8月1日～8月31日
後期 10月1日～3月20日 冬休み 12月21日～1月9日
春休み 3月21日～4月9日

●授業時間

月～金 午前9時～午後1時10分(午後2時30分)

1年生時間割(例)

	月	火	水	木	金
第1・2時限 (9:00～9:45 9:45～10:30)	基礎会話	基礎漢語	講読演習	基礎漢語	社会I (現代史概論)
第3・4時限 (10:45～11:30 11:30～12:15)	基礎漢語	社会II (現代中国論)	基礎会話	基礎漢語	聴解基礎
第5時限 (12:25～13:10)	基礎漢語				基礎漢語
6・7時限 (13:00～14:30)			基礎漢語		

2年生時間割(例)

	月	火	水	木	金
第1・2時限 (9:00～9:45 9:45～10:30)	応用漢語	作文	講読演習	社会	応用漢語
第3・4時限 (10:45～11:30 11:30～12:15)	聴解I (ニュース)	会話I	応用漢語	聴解II (映画)	会話I
第5時限 (12:25～13:10)	会話II				会話II
6・7時限 (13:00～14:30)				選択科目 (太極拳)	

状況によりオンライン授業にも対応します!

新型コロナウイルス感染症拡大等により、通常授業が難しい状況では、一部Zoomによるオンライン授業を行うことが可能です。また、休校により授業時間が不足した場合でも、夏休みや年度末等で学習時間を確保します。

●使用教材

- 1年次…教材は主に上海華東師範大学編「基礎漢語40課」やオリジナル会話教材を使い、ゼロからのスタートで「読む」「聞く」「話す」「書く」の基礎力を養っていきます。
- 2年次…1年次に身につけた基礎をもとに、主に中国で出版されているテキストやオリジナル教材を使用し「日文中訳」「講読」「会話」「聴解」などの応用力を養います。また選択科目を通し、中国文化への理解を深めていきます。

●取得単位

1年次単位取得科目		2年次単位取得科目					
科目	単位	科目	単位	科目	単位	科目	単位
中国語発音基礎	2	基礎会話 I	4	応用漢語 I	6	作文 I	2
基礎漢語 I	10	基礎会話 II	4	応用漢語 II	6	作文 II	2
基礎漢語 II	12	中国現代史概論	2	応用会話 I	4	聴解演習 I	4
講読演習 I	2	中国社会概論	2	応用会話 II	4	聴解演習 II	4
講読演習 II	2	現代中国論	2	講読演習 III	2	中国社会研究 I	2
聴解基礎 I	2	日中文化史	2	講読演習 IV	2	中国社会研究 II	2
聴解基礎 II	2			短期留学	4		
選択必修科目							
		英語	日本語教授法	太極拳	4		
1年次合計		48単位		2年次合計		48単位	

本科編入 フローチャート	1年				2年		卒業
	4月	7月	9月	10月	3月	4月	
1年9月・10月編入	(前期の単位振替)	編入	編入			1年6ヶ月又は7ヶ月履修	本科卒業・専門士取得
2年編入	○既習単位振替可能な場合	(1年の単位振替)				編入 1年履修	
	○既習単位振替不可能な場合	・1年間のみ				編入 科目履修生として1年履修	本科卒業・専門士なし 本科卒業レベルに

※科目履修生と正規学生の相違点

- 資格について…卒業・専門士資格はありません。修了証のみの発行になります。
- 証明書の発行…在学証明書のみ発行で、その他の証明書は発行しません。
- 奨学金について…公的奨学金・学院私設奨学金の対象にはなりません。学生証は発行しますので、学割の申請はできます。



会話では通訳の練習も



ニュースを教材とした聴解の授業



Qīngmù Xī
青木 希 同学

仕事を
退職

日中学院本科

私は高校の選択授業で中国語に触れる機会がありましたが、当時はほとんど身に付きませんでした。その後中国語はすっかり忘れてしまいましたが、数年前から中国ドラマを観るようになり、再び中国語の美しい響きに魅了されました。更に最近は職場の病院で中国人の患者さんと出会うことも増えてきました。医療現場では英語を話すスタッフはいても、中国語を話せる人はほとんどいません。中国語が話せたら、多くの患者さんにより安心感を与えられるのではと思うようになり、何十年ぶりですが再び中国語に挑戦することにしました。今回私はじっくりと学びたいと思い、全日制で通学できる日中学院を選びました。クラスメイトは年代や経歴は様々ですが、勉強だけでなく学校行事でも協力合っています。また、日中学院は中国語本科の他に日本語科があり、日常的に中国人留学生と触れ合う機会が多いのが魅力です。実際に入学後は中国人留学生の友人がたくさんでき、いつも午後はわいわいとおしゃべりをしながら交流をしています。中国はすぐ隣の国なのにまだまだ知らないことがたくさんあります。語学は独学やオンラインでも学べますが、こうした日々の交流から、言葉だけではなくお互いの文化を理解し尊重することの大切さを実感しています。今後も勉強に励みながら学生生活を存分に楽しみたいと思います。

中国語未習者の人は
本科1年からスタート

他の学校で
中国語を学ぶ

日中学院本科

Jiǔjǐng Jiànshìláng
酒井 健士郎 同学



私は以前、日中学院とは別の中国語レッスンに週1回1時間通っていましたが、進度が速くなかなか身につけませんでした。より深く勉強したいと考え調べたところ日中学院の本科を知りました。体験授業で学校や先生の雰囲気を知り、中国人の留学生がいるということから入学を決めました。

現在1年生のクラスは6人と少人数ですが年齢層が幅広く、中国語以外のことでも多くの刺激を受けます。授業では少人数のため一人一人に丁寧に指導していただくことができます。また中国語だけでなく中国の文化や習慣などについても触れられるため、中国人への理解も深められます。

主な学校行事として5月に合宿、10月に文化祭、2年次に短期留学などがあります。普段は本科と留学生は授業時間が異なるため、合宿は共に交流ができる貴重な機会です。文化祭では劇を行い、自分たちの学んできた中国語を披露できるほか、留学生の劇や模擬店を通して中国人との行動や価値観の違いなどを実感できます。このように実際に中国人を身近に感じられる点も日中学院の魅力だと思います。

学校は質問のしやすい環境のため学習で行き詰ったことがあっても解決しやすいと感じます。中国語を学ぶ場として素晴らしい環境だと思います。

中国語を学んだことがある人も
本科1年生から復習も兼ねて



Xiàngjǐng
向井 けい子 同学

主婦を
しながら

日中学院本科

私は長年、専業主婦として生活してきましたが、5年前に始めた太極拳で中国の文化の奥深さに触れるうち、次第に「この文化を形作っている言葉そのものを学んでみたい」という強い好奇心が芽生え、思い切って日中学院に入学しました。

実際に学習を始めてみると、語学の道は想像以上に険しいものでした。発音や四声の使い分け、そして次々と出てくる新しい単語。正直なところ、覚える端から忘れてしまうような感覚もあり、授業についていくのは今でも大変な努力を要します。机に向かって勉強することから長く離れていた私にとって、一筋縄ではいかない挑戦の連続です。しかし、学院には根気強く熱心に指導して下さる先生方がいらっしゃいます。そして年代も背景も異なるクラスメートたちが熱心に学ぶ姿は、とても刺激になります。また、中国の文化や歴史を学ぶカリキュラムもあり、語学だけでなく異文化理解が深まることも魅力です。

「活到老、学到老（一生学び、一生成長する）」この言葉を胸に、これからも中国語を通じて広がる新しい世界を大切に、粘り強く頑張り続けたいと思います。

生涯学習として
本科1年生で新たなスタート

本科 研究科

(1年制通訳翻訳課程)

さらに一步夢に近づくため、即戦力になる力をつける。



研究科とは 仕事で使える実践的な中国語を

中国語の基礎はすでにマスターし、より深く中国を知り、その力をベースに仕事をしていきたいと考えている方のためのコースです。

本学本科2年卒業または大学中文科卒業程度、留学経験者などに最適です。

通訳翻訳の基礎力養成 少人数セミナー形式

授業は少人数セミナー形式で行われ通訳翻訳の基礎力を養成します。

どの科目も課題量が多く、中国語漬けの厳しい環境の中で、集中的に訓練し更なるレベルアップを図ります。

また、即戦力になれるよう実践と結びついた密度の濃い授業を行います。

授業内容 通訳Ⅰ、通訳Ⅱ、翻訳Ⅱを科目履修として受講できます。

- 通訳Ⅰ (中文日訳)
ビジネス、ニュース、生のスピーチ等を用い、中国語から日本語への通訳メソッドを通じて、リスニング力アップと日本語表現についても考える。
- 通訳Ⅱ (日文中訳)
スピーチやニュースなどを用い、通訳の基礎知識を学び、洗練された中国語の表現力と通訳スキルの向上を図る。
- 翻訳Ⅱ (日文中訳)
新聞、物語、エッセイ、契約書等の翻訳を通し、中国語の文法を固め、書面語表現を習得し、自然な中国語翻訳のテクニックを学ぶ。



日文中訳の授業



通訳の訓練

1年間のいろいろなイベント — 留学生との交流も

4月
入学式



学院長挨拶、講師紹介、
歓迎演奏



10月
文化祭



中国点心の模擬店



2ヶ月かけて練習した中国語劇



5月
合同合宿



グループごとに学習会&交流会



スポーツ大会



夜は発表会&レクリエーション

1月
弁論大会



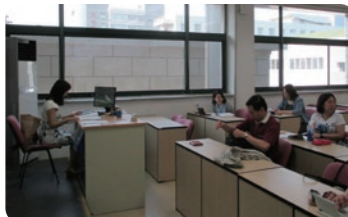
中国語で自分の考えを発表します

7月
短期留学



午前はオール
中国語の授業

午後や週末は
自由に北京散策



3月
卒業式



それぞれの道での活躍を祈ります



進路

卒業後の進路は、就職、大学編入、中国長期留学等さまざまです。

日中学院では、本科生・本科研究科生を対象に進路指導を行なっています。クラス担任、講師と進路担当職員が密接な連携のもとに進路指導に当たっています。

現在の社会の状況を知る手がかりとするために、先輩を囲んでの進路懇談会、個人面接を行ない、進路決定の一助になるよう協力しています。

就職 高い語学力は就職に強い！

中国が日本の最大の貿易相手国となり、日中間の経済活動はますます盛んになっています。このような中、企業から高い中国語力を備えた本学院学生へのニーズは高く、毎年多方面から急募、アルバイトを含め多くの求人票が寄せられています。

●主な就職先（順不同）

- | | | |
|--|---|--|
| ①金融関係
中国銀行
中国工商銀行
中国交通銀行
マーチャント・サポート株式会社 | ③航空 運輸
中国国際航空公司
恒大産業株式会社
コスコ・コンテナライズジャパン株式会社
コスコ・ジャパン株式会社 | ⑤メーカー
玉川衛材株式会社
株式会社日中通信社
日本スーパーマップ株式会社
日本トムソン株式会社
林フェルト株式会社 |
| ②商社 卸売
朝陽貿易株式会社
三通国際商事株式会社
株式会社ティー・オー食研
株式会社テンダイ
日信国際株式会社
日本興産貿易株式会社
萬来フーズ株式会社
貿易開発株式会社
山野貿易株式会社
株式会社吉田号 | ④旅行 サービス
株式会社アサヒホリディサービス
亜細亜国際交流株式会社
ANAエアポートサービス株式会社
ANA中部空港株式会社
株式会社エムエスツーリスト
銀座日新堂
コミックリズ株式会社
シエルツーリスト株式会社
全日空国際旅行社（中国）有限公司
株式会社日本橋夢屋
香港中旅日中旅行社株式会社
ワーナー・ブラザーズジャパン合同会社 | ⑥コンピューター 通信
Google北京
人民中国雑誌社東京支局
株式会社日本ウィクレソフト・ジャパン
方正株式会社 |
| | | ⑦団体他
外務省在外公館派遣員（上海、香港）
中国大使館領事部
中国帰国者支援交流センター
日本中国友好協会 |

就職者の声

在上海日本総領事館に派遣

本科研究科50期 三浦 龍馬



私は在上海日本総領事館の派遣員に合格し、2年間上海で働く予定です。担任の張蕾老師に中国語面接の練習をしていただいた以外にも、日々の授業で学んだこと全てが、就職活動の結果に繋がったと感じます。

日中学院での1年間は課題に追われる毎日でした。特に卒業後に就職を目指す方にとっては、就職活動と並行しての学習は大変かと思います。「完璧は目指さず、できるところまで全力で取り組む」ことを意識して、なるべく早い段階で、何曜日にもどの課題をやる、ということを決めることをお勧めします。私は学習開始時には全てを完璧に暗記しようと意気込んでいましたが、早々にそれではうまくいかないと考え、6割程度の完成度でもいいからとにかく課題をこなすことを大切にしました。1回で完璧にしようとせず、「学而時習之、不亦说乎」の精神で復習したのが自分に合っていたようです。授業では毎日一緒に学習するクラスメイト以外にも、科目履修生の皆さんと切磋琢磨することができました。様々な世代の学生がいるからこそ、文章ひとつとっても訳し方や解釈に新しい発見があり、非常に勉強になりました。

なかなか大きな変化が見えづらい語学学習ですが、研究科でしっかりと学習できれば、1年後にはきっと自分の夢へのスタートラインに立てるはずですよ。

長期留学 本場中国でブラッシュアップ

日中友好交流の発展にともない、中国留学希望者も増えています。「中国語」の社会に身を置くことによって、「聞く・話す」能力を高めるとともに幅広く知識を得ることができます。本学院では、1979年の3名を端初に現在まですでに200名以上の学院生が中国へ留学しています。留学生は本学院で学んだ基礎の上に、おもに現代中国語を学ぶのが一般的ですが、そのほかにも中国文学、中国史、政治経済などの専門分野を学ぶ学生もいます。

●過去の主な留学先

- | | |
|----------|-----------|
| 中国人民大學 | 北京語言大學 |
| 北京師範大學 | 首都師範大學 |
| 北京大學 | 北京第二外國語學院 |
| 對外經濟貿易大學 | 南開大學 |
| 天津師範大學 | 天津外國語大學 |
| 華東師範大學 | 上海財經大學 |
| 黒龍江大學 | 東北師範大學 |
| 華南師範大學 | 雲南大學 |

大学編入

指定校推薦で直接大学3年に編入!!
一般編入で東京外国語大学へも!!

日中学院では、指定校推薦制度等により学院卒業後直接大学3年に編入することができます。入試の形式は様々ですが、日中学院の成績が大学の単位として認められるのです。日中学院で2年間中国語を習得し、その後大学に編入し2年間で学士学位が取得できます。高校卒業から同じ4年間で大学を卒業できるわけです。この場合、直接大学に進学した学生より、中国語のレベルは、ずっと上になっています。高校生には特にお勧めな道です。

東京外国語大学言語文化学部言語・情報コース3年へも一般編入が可能で、合格者を輩出しています。

日中学院で中国語習得(1年~2年)・・・**専門士取得**



大学3年に編入(2年間) **学士学位取得**

2017年度より日本大学へ
推薦編入可能!!

2007年度より東京外国語大学へ
一般編入可能!!

日中学院より推薦編入等可能な大学

- ・日本大学文理学部中国語中国語文化学科
- ・大東文化大学外国語学部中国語学科
- ・神奈川大学外国語学部中国語学科
- ・目白大学外国語学部中国語学科
- ・明海大学外国語学部中国語学科
- ・麗澤大学外国語学部中国語専攻

上記以外の大学でも一般入試で編入可能です。

過去の編入合格実績

- | | |
|---------|----------|
| 東京外国語大学 | 神戸市外国語大学 |
| 京都外国語大学 | 愛知大学 |
| 桜美林大学 | 神奈川大学 |
| 杏林大学 | 大東文化大学 |
| 帝京大学 | 名古屋大学 |
| 日本大学 | 目白大学 |
| 明海大学 | 麗澤大学 |

大学編入生の声

東京外国語大学3年次編入

本科53期 謝 遠寧

ほんの短い間とはいえ、かつて営業職で外回りをしていたことがあり、方々歩き回って訪ねた内の一軒に中国人の住むお宅があった。中から出てきたのは、如何にもといった感じの、中国の田舎によくいそうな風貌をしたおばあちゃんだった。もちろん日本語はわからない。今息子がいないのでちゃんと対応できなくて申し訳ないといった意味合いのことを言っていた気がする。相当訛っていた。今思い返してみればよく聞き取れたものだとながら驚いている。だが何よりも、その時ショックだったのは、すみませんご迷惑おかけしましたという中国語が私の口から出てこなかったことだ。少なくとも10代の頃なら問題なく言えていたはずのフレーズである。はじめは何とも思わなかったが、仕事から帰ると、不意に悔しさをやたら溢れ出してきて、自分にえらく落胆していた。こんなにまで中国語のレベルは落ちてしまったのか、と。このままではいけないという考えがその時から段々と高まるようになった。それから数週間と経たないうちに、あれよあれよと日中学院に入学し、今では大学に編入が決まったのだから人生わからない。結果的に、あの時の出来事が中国語を再勉強しようという契機になったのだと思う。名も知らぬおばあちゃんに感謝である。

ちなみに東京外国語大学の編入試験にあたっては、通常の授業で苦勞していたり、或いは満足している程度では到底話にならないので、私の場合は日頃から中国語で書かれているニュースやコラム、小説、随筆等を読んだり、中検1級レベルの作文(日文中訳)を練習しては先生方に添削してもらっていた。特に後者は相当私の語学力の向上の手助けになったと思うので、先生方にはただただ感謝の気持ちでいっぱいである。

大学編入生の声

東京外国語大学3年次編入合格

本科52期 同学

日中学院には、まずは焦らず中国語の音韻体系を体得しようというポリシーがある。正確な聴力と発音を身に付ければ、知識の吸収スピードや定着力も自ずから向上し、効率良く学習できるという事だ。私は中国語学習経験が全く無い状態で入学し、仕事をしながら通った。四声や拼音と言うシステムがある事も知らず、入学当初は発音など惨憺たるものだったが、熱心な教師陣の薫陶を受け非常に進歩できた。1年秋には中検2級、2年春には中検準一級一次試験、HSK6級230点等取得したが、日中学院で「本物」の中国語に触れて学べば、実力は自然に伸びていく。

再び大学で学ぶ事は入学当初全く考えていなかった。私は完璧な中国語能力を手に入れる事だけを目標に学習を始めたが、結局は真に高次の中国語理解を手にするには種々の研究が必要だと分かり、2年の春頃目指し始めたものだ。精緻に字を配列し簡潔な文面に果てし無い奥行きを与える中国語の奥妙に少しでも近づき、そして言語の持つ本当の作用、即ち人の心を揺り動かすに至る強さを備えた中国語を書けるようになれば、まさに限りない喜びだろうか。日中学院ではスピード感を持って学習を進められるから、一般的な学習では到達できない領域はどんなものか、その為にはどうした分野の研究が必要なのか、見極めるのに十分な水準に余裕を持って到達できる。ぜひ何も考えず日中学院に飛び込んで、思い切り中国語を楽しんでみよう。無論、そうして編入学が必要だと分かった時には、先生や先輩が熱心に助けてくれる文化がある。

業種別卒業生の声



Zhōngcūn Yǔzhìzǐ
中村 予至子 同学

日中学院 本科 ▶ 留学 ▶ 通訳

幼い頃から世界を飛び歩きたいと思っていたのと、所謂中国ブームに後押しされた私はちょっとした紆余曲折の上、日中学院で中国語を学ぶことにしました。本科では、四声も覚束ない頃から教えて日本語を使わない授業も一部ありましたが、兎にも角にも只ひたすら、がむしゃらに意味を理解しようとしていたあの頃の経験は、今でも色々な現場で役に立っています。フリーランスの通訳という立場は、その時だけある仕事に参加するとういう、あくまでもテンポラリーな役割しか担えない事が多いので、一連の流れの中で仕事全体を把握することは殆どできません。けれども、普通の生活をしていたら会うことのない、この先もう二度とお目にかかれないであろう分野のエキスパートやスーパースターと同じ空気を吸える空間に立つこともあります。プロがプロと称される所以を肌で感じ、自己研鑽の糧とできる素晴らしいチャンスに恵まれるという得難い経験は何物にも代えられません。残念ながら実際にはその度に自己嫌悪に陥る悲しい状況ではありますが…。通訳といっても様々で、個人的には現場通訳みたいな、機械では難しいと思われる、生身の声と空気と温度を感じながら行われる通訳が好きです。もちろん通訳の現場で自分の発言をすることはあり得ませんが、中国語という工具を持った異文化コミュニケーションツールとしての役割を担うことができるよう、これからは努力していきたいと思ひますし、そして何よりも、これら様々な気付きを与えてくれた日中学院には今でも心から感謝しています。

日々中国語漬け
通訳・通訳ガイドとして活躍

日中学院 本科 ▶ 旅行会社

Tōngkǒu Huālí
樋口 花梨 同学



日中学院を卒業後、現在は法人向けに海外出張の手配を行う旅行会社に勤務し、航空券の手配業務を担当しています。出張内容や日程に応じて航空会社や路線、運賃規則を確認し、正確かつ迅速な対応が求められる仕事です。責任も大きい分、自分の判断や対応がそのままお客様の信頼につながる点にやりがいを感じています。

海外出張の中でも中国方面の依頼は比較的多く、中国行きの案件が入ると、これまで学んできたことを思い浮かべ、身近に感じられる点もこの仕事のやりがいの一つです。中国語を日常的に使う機会は多くありませんが、語学を学んでいたことがきっかけで、中国の航空会社が主催するイベントに会社の代表として参加させていただいたことがあります。言語だけでなく、中国の文化や考え方を学んでいたことで、海外の航空会社とのやり取りにも前向きに取り組むことができました。

中国語学習や北京留学を通して培った異文化理解や挑戦する姿勢は、現在の業務にも確実に活かしています。日中学院で学んだ時間は、語学力だけでなく、海外を身近に感じながら仕事に向き合う姿勢を育ててくれました。この経験を、今後さまざまな場面で活かしていきたいと思ひます。

海外出張の航空券手配
株式会社日本橋夢屋



Mùténg Nàibǎozǐ
木藤 奈保子 同学

日中学院 本科 ▶ 日中学院 本科研究科 ▶ 台湾ドラマ制作会社

台湾のドラマ制作兼タレントマネジメント会社の日本人で、ドラマとバラエティ番組制作に携わっています。ドラマ制作では主に日本の漫画原作のドラマを制作しているため、日本の出版社と映像化に向けて交渉する際の台湾窓口として、制作がスムーズに進捗するための調整をしています。調整する内容は、キャスト、物語設定から、宣伝・商品化の計画、契約内容まで多岐に渡ります。また、バラエティ番組制作ではアシスタントプロデューサーとして、番組制作の環境を整える仕事を行います。タレントの出演・ギャラ交渉、スケジュール調整、スタッフ、場所の確保から撮影当日の現場通訳、車両やお弁当の用意まで、あらゆるものを準備します。このようにどちらの仕事も主に交渉・調整で、交渉相手は全て台湾人なので、『きちんと伝える』ことを心がけています。ネイティブでない部分を補うため、見やすい資料を用意したり、人脈をひろげ色々な人に根回ししてもらったりも必要です。勿論相手にされない、交渉決裂など困難にぶち当たることも多々あります。そんな時日中学院で学んだ事がとても役に立っていると強く感じます。基礎をきちんと学んだという自信があるため、拙くても自分の言葉で根気良く交渉を続けていけるのだと思ひます。こうして一つ一つ困難を解決していき、それが更に次の仕事に繋がっていると実感しながら日々仕事をしています。今後とも学院で学んだ基礎を基に、一歩一歩努力していきたいと思ひます。

日本と台湾を何往復 F4ドラマ制作も
可米製作股份有限公司



Chūcūn Zhīmèi
出村 智美 同学

日中学院 本科 ▶▶▶ 外務省

私は日中学院別科で中国語の勉強を始め、本科2年生に編入、1年間の中国留学を経て、本科研究科で学びました。

2年生の必修である短期留学は、1ヶ月間という短い期間ですが、授業のみならず日常生活でも生きた中国語に触れることができるとてもいい機会でした。また、短期留学を経験したことから中国留学への気持ちが強くなり、研究科に進む前に1年間留学したことは、研究科での学習においてもプラスとなったと実感しています。中国語の上達が実感できず、苦しい時期もありましたが、日中学院の先生方は経験豊富で、本科、別科ともにいつも熱心に丁寧に教えていただきました。

研究科在籍時に外務省の在外公館派遣員制度に応募し、卒業後は在香港日本国総領事館で2年間勤務しました。主な業務は公用の出張者が来訪する際の空港やホテル等での支援や総領事館車の配車、庶務業務などです。その後外務省に採用となり、在青島日本国総領事館で約2年半勤務をしました。どちらの公館でも得難い経験ができ、日中学院で培った中国語を糧に大過なく勤務することができました。現在は、儀典官室で信任状捧呈式のための各国大使館と宮内庁との事務調整の仕事を中心にしています。

最後に、高校卒業後数年間やりたいたいことが見つからずいた私が、日中学院に出会い、中国語を勉強したことは大きな転機となりました。先生方には、時には厳しく、時には優しく指導していただき、今の自分がいることに本当に感謝しています。

香港・青島領事館勤務
外務省

日中学院 本科 ▶▶▶ 商社

Shìqǐ Xiánzhì
矢崎 賢治 同学



私は、中国・タイ・インドネシア・ベトナムを中心としたアジアから、食品・日用雑貨の輸入を行う商社で働いています。その中で、私の担当業務は、塩蔵野菜・水煮野菜・冷凍栗等の食品を中国より輸入しています。仕事内容は、中国工場の生産管理・輸入書類作成・国内在庫管理・国内営業と、商売の流れを一通り行っています。その為、語学力だけでなく、商品・貿易・営業スキルも求められます。

中国へは、年に4回程行き、1回の滞在日数は、10日前後となります。広い中国ですので、1日で回れる工場は限られ、午前中は移動・午後商談というスケジュールを組んでいます。仕事後には、毎晩、中国会社と一緒にお酒(白酒)を飲みます。時には飲み過ぎる時もありますが、お酒は中国ビジネスにおいて重要であり、中国会社との人間関係が深まる?信頼関係が築ける?とも言われています。出張先は、河北省・山東省、浙江省・江西省・福建省で、河北省から福建省へ直接移動する時もあり、20度近くの温度差も経験しました。また、農産物を担当している為、播種・収穫時には産地視察を中心に、製造時には、工場の製造ライン・衛生管理の確認を行います。工場の所在地は、やはり人件費の安い地方にあり、人々の方言が多く残り、毎回、会話では苦労します…。日本での仕事でも、中国会社と電話・メールを行い、中国語とは切っても切れない生活となります。

現在、中国では富裕層が増え、これまでの世界の工場から世界の市場へと変化をしています。今後は、輸出事業へのチャレンジをし、中国ビジネスを極めたいと思ひます。

中国貿易に奔走
株式会社テンダイ



Ēntián Yòuji
恩田 侑紀 同学

日中学院 本科 ▶▶▶ 航空会社
グランド
スタッフ

航空会社のグランドスタッフとして働いています。私は現在、空港でチェックイン業務や搭乗案内、到着対応などを担当しています。毎日さまざまな国籍のお客様と接する中で、語学力だけでなく、相手の文化や背景を理解しようとする姿勢の大切さを強く実感しています。お客様一人ひとりに寄り添い、安心してご搭乗いただけるよう心がけることが、私の大切な役割です。

在学中に学んだ中国語や異文化理解の知識は、今の仕事で確実に活かしています。特に中国からのお客様をご案内する際に、言葉で直接サポートできることは大きな強みです。また、単に話せるだけでなく、相手の立場に立って考える力を養えたことが、接客の現場での自信につながっています。困っているお客様に自分から声をかけ、丁寧に説明し、笑顔で送り出せたときに、大きなやりがいを感じます。

日中学院では、語学力の向上だけでなく、将来社会で活躍するための基礎力を身につけることができます。先生方や仲間との出会いは視野を広げ、新しい可能性を見つけるきっかけになります。挑戦を重ねた経験は、必ず将来の自分を支える力になります。

空港のチェックイン業務に従事
航空会社グランドスタッフ